



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 株式会社 エイジス

上場取引所 東

コード番号 4659 URL <http://www.ajis.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 昭生

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 西岡 博之

TEL 043-350-0567

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	12,919	2.7	1,490	0.6	1,506	0.2	989	4.1
29年3月期第2四半期	12,577	10.9	1,499	27.2	1,504	26.2	1,031	33.6

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,018百万円 (1.9%) 29年3月期第2四半期 999百万円 (27.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	112.36	
29年3月期第2四半期	117.14	

(注) 当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	16,004	12,251	75.6
29年3月期	15,322	11,593	74.8

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 12,104百万円 29年3月期 11,463百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		80.00	80.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行いました。平成29年3月期については、当該株式分割前の実際の配当の額を記載しております。

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,050	8.6	3,100	1.3	3,130	1.3	2,144	0.9	243.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	10,771,200 株	29年3月期	10,771,200 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期2Q	1,965,588 株	29年3月期	1,965,528 株
----------	-------------	--------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	8,805,646 株	29年3月期2Q	8,805,720 株
----------	-------------	----------	-------------

(注)当社は、平成29年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、底堅い内外需を背景に景気回復基調が続きました。当社グループの主要顧客であります流通小売業界におきましては、消費者の節約志向等により、個人消費の動向は不透明な状況が続き、同業他社や他業態との競争激化および人材確保が困難な状況が続く等、依然厳しい経営環境が続いております。

セグメントの概況は次のとおりであります。

## ① 国内棚卸サービス

国内棚卸サービスにおいては、前期の臨時大型受注による増収分を当期に継続できなかったこと、及び前期の長時間労働抑制のための受注調整分を当期に復元しきれなかったことにより減収となりました。重点施策である棚卸作業の生産性(注)の改善につきましては、新型端末機器の導入や棚卸経験者比率の向上により、第2四半期累計で前期比10.3%増と大きく伸長いたしました。賃金制度・基本時給の改定により現場段階での労働単価が前期比6.7%増と大きく上昇しましたが、生産性の伸長が労働単価上昇を吸収し、売上総利益率では前期比で伸長しております。売上高は8,421百万円(前年同四半期比4.6%減)となり、セグメント利益は売上減少の影響を受け1,073百万円(前年同四半期比10.0%減)となりました。

(注) 1時間あたり数量ベースのカウント生産性

## ② リテイルサポートサービス

リテイルサポートサービスにおいては、新規出店時や店舗改装時の陳列、店舗商品補充業務の受注拡大により前期に引き続き売上増加基調で推移しております。また、利益面においても売上伸長が牽引し、大幅に収益改善しております。売上高は3,388百万円(前年同四半期比22.5%増)、セグメント利益は310百万円(前年同四半期比48.5%増)となりました。

## ③ 海外棚卸サービス

海外棚卸サービスにおいては、既存顧客からの受注増加、新規営業の成果もあり売上増加基調で推移しております。利益面においては、前期より生産性向上の取り組みを進め徐々に成果があらわれています。売上高は1,109百万円(前年同四半期比13.2%増)、セグメント利益は93百万円(前年同四半期比1.8%増)となりました。

これらの結果から、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高12,919百万円(前年同四半期比2.7%増)、営業利益1,490百万円(前年同四半期比0.6%減)、経常利益1,506百万円(前年同四半期比0.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益989百万円(前年同四半期比4.1%減)となりました。

当社グループの売上高の特徴として、国内棚卸サービスの閑散期である第1四半期連結会計期間および第3四半期連結会計期間の売上高は少なく、国内の主要な顧客であります流通小売業界の決算が集中する第2四半期連結会計期間および第4四半期連結会計期間は繁忙期となり売上高が多くなる傾向があります。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は16,004百万円(前連結会計年度比4.5%増)となりました。これは、主として親会社株主に帰属する四半期純利益獲得により現金及び預金が増加したことによるものです。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は3,752百万円(前連結会計年度比0.6%増)となりました。これは、主として未払法人税等および賞与引当金が増加したことによるものです。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は12,251百万円(前連結会計年度比5.7%増)となりました。これは、主として配当金の支払いにより利益剰余金が減少したものの親会社株主に帰属する四半期純利益獲得により利益剰余金が増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、6,691百万円(前年同四半期比1,253百万円増)となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は、1,428百万円(前年同四半期比38.8%増)であります。その主な内訳は、収入要因として税金等調整前四半期純利益が1,503百万円、売上債権の減少額が170百万円、支出要因として法人税等の支払額が448百万円であります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において投資活動に使用した資金は、651百万円(前年同四半期比207.2%増)であります。これは、主として定期預金の預け入れおよび固定資産の取得による支出によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、359百万円(前年同四半期比64.6%増)であります。これは、主として配当金の支払額351百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績経過は概ね計画通りの推移となっておりますので、現時点での通期業績予測につきましては、平成29年5月10日に発表いたしました「平成29年3月期決算短信」に記載の業績予想と変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,247,793	7,854,446
受取手形及び売掛金	3,604,327	3,424,812
貯蔵品	40,350	44,355
その他	393,565	374,252
流動資産合計	11,286,036	11,697,866
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,276,394	1,276,394
その他(純額)	804,827	943,429
有形固定資産合計	2,081,222	2,219,823
無形固定資産	460,081	489,367
投資その他の資産		
その他	1,494,688	1,597,388
投資その他の資産合計	1,494,688	1,597,388
固定資産合計	4,035,992	4,306,580
資産合計	15,322,028	16,004,446
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	92,709	92,972
未払金	1,967,598	1,961,799
未払法人税等	495,023	519,729
賞与引当金	403,450	412,883
役員賞与引当金	15,340	8,620
その他	658,659	657,128
流動負債合計	3,632,780	3,653,133
固定負債		
退職給付に係る負債	3,685	4,515
その他	92,380	95,163
固定負債合計	96,066	99,679
負債合計	3,728,847	3,752,812
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	475,000	475,000
資本剰余金	491,820	492,088
利益剰余金	12,940,957	13,578,143
自己株式	△2,463,565	△2,463,694
株主資本合計	11,444,212	12,081,537
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,880	54,975
為替換算調整勘定	△22,363	△31,581
その他の包括利益累計額合計	19,516	23,394
非支配株主持分	129,451	146,702
純資産合計	11,593,181	12,251,634
負債純資産合計	15,322,028	16,004,446

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	12,577,024	12,919,209
売上原価	8,784,814	9,370,933
売上総利益	3,792,209	3,548,275
販売費及び一般管理費	2,292,590	2,057,784
営業利益	1,499,619	1,490,490
営業外収益		
受取利息	3,052	4,808
受取配当金	4,593	4,898
受取賃貸料	10,890	11,187
物品売却益	5,177	111
その他	15,263	6,656
営業外収益合計	38,976	27,662
営業外費用		
支払利息	543	547
為替差損	27,963	4,601
賃貸費用	5,348	5,338
その他	680	851
営業外費用合計	34,535	11,338
経常利益	1,504,060	1,506,814
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,577
特別利益合計	—	1,577
特別損失		
固定資産除却損	2,614	4,868
特別損失合計	2,614	4,868
税金等調整前四半期純利益	1,501,446	1,503,523
法人税等	450,767	488,761
四半期純利益	1,050,679	1,014,761
非支配株主に帰属する四半期純利益	19,180	25,349
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,031,498	989,412

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	1,050,679	1,014,761
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,678	13,094
為替換算調整勘定	△39,398	△9,136
その他の包括利益合計	△51,076	3,957
四半期包括利益	999,602	1,018,719
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	980,892	993,289
非支配株主に係る四半期包括利益	18,710	25,429



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,501,446	1,503,523
減価償却費	177,735	177,434
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,255	11,942
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,571	△7,965
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△20	844
受取利息及び受取配当金	△7,645	△9,706
支払利息	543	547
固定資産除却損	2,614	4,868
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,577
売上債権の増減額(△は増加)	396,517	170,064
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,634	△8,772
未払金の増減額(△は減少)	△343,347	8,036
未払消費税等の増減額(△は減少)	△105,208	△52,719
その他	32,830	72,407
小計	1,656,786	1,868,928
利息及び配当金の受取額	11,303	8,363
利息の支払額	△152	△87
法人税等の支払額	△638,695	△448,548
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,029,242	1,428,655
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△705,300	△1,106,559
定期預金の払戻による収入	738,977	912,450
有価証券の償還による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△96,546	△256,345
有形固定資産の売却による収入	29,139	—
無形固定資産の取得による支出	△58,983	△106,570
投資有価証券の取得による支出	△200,000	△200,000
投資有価証券の売却による収入	—	2,577
投資有価証券の償還による収入	100,000	100,000
関係会社株式の取得による支出	△112,006	—
差入保証金の差入による支出	△20,775	△8,996
差入保証金の回収による収入	13,082	11,681
その他	241	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△212,173	△651,752
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△172	△129
配当金の支払額	△219,545	△351,558
非支配株主への配当金の支払額	△800	△3,350
その他	2,094	△4,560
財務活動によるキャッシュ・フロー	△218,423	△359,598
現金及び現金同等物に係る換算差額	△36,067	△4,582
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	562,577	412,722
現金及び現金同等物の期首残高	4,640,819	6,278,282
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	234,431	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,437,828	6,691,005

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	リテイルサポート サービス	海外棚卸サービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	8,829,983	2,766,994	980,046	12,577,024
セグメント間の内部売上 高又は振替高	34,961	174,760	—	209,721
計	8,864,944	2,941,754	980,046	12,786,745
セグメント利益	1,193,038	209,436	91,881	1,494,357

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,494,357
セグメント間取引消去	5,262
四半期連結損益計算書の営業利益	1,499,619

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	リテイルサポート サービス	海外棚卸サービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	8,421,505	3,388,620	1,109,083	12,919,209
セグメント間の内部売上 高又は振替高	41,735	69,949	—	111,685
計	8,463,241	3,458,570	1,109,083	13,030,894
セグメント利益	1,073,584	310,927	93,579	1,478,091

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,478,091
セグメント間取引消去	12,398
四半期連結損益計算書の営業利益	1,490,490

以上